



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アクセル

コード番号 6730 URL <http://www.axell.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々木 謙

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 千代 進弘

TEL 03-5298-1670

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,680	—	1,237	—	1,268	—	803	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 788百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	64.82	—
23年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,644	11,909	94.2
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,909百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
24年3月期	—	30.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,200	—	950	—	950	—	550	—	44.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ニューゾーン、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	12,402,252 株	23年3月期	12,402,252 株
24年3月期3Q	0 株	23年3月期	0 株
24年3月期3Q	12,402,252 株	23年3月期3Q	12,402,252 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成24年1月27日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. （参考）四半期財務諸表（個別）	9
(1) （参考）四半期貸借対照表（個別）	9
(2) （参考）四半期損益計算書（個別）	
第3四半期累計期間	10
(3) （参考）四半期キャッシュ・フロー計算書（個別）	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 最近における四半期毎の業績の推移（連結）	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、業績及び財政状態の前年同四半期比較の記載は行っていません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の急激な落ち込みが見られたものの、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復してきたことに伴い、緩やかな景気回復傾向を示しております。しかしながら、世界経済を牽引してきた中国をはじめとするアジア地域や新興国において、インフレ懸念の高まりを背景とした金融引き締めから景気減速の兆しが見られており、欧州の債務危機等に起因する記録的な円高や慢性的なデフレの影響とあいまって、国内景気の先行きは依然として不透明感を払いきれない状況が続いております。

また、当社グループが属する電気機器業界におきましては、スマートフォン（高機能携帯電話）などの携帯通信端末の堅調な需要に支えされましたが、市場全体では個人所得の低迷などによる消費の抑制傾向から、本格的な回復には至らないままでの推移となりました。

現在、当社グループの中心的市場である遊技機器市場（注1）につきましては、東日本大震災による東北地方沿岸部における遊技ホールの被災、一部地域における電力供給不足に配慮した遊技ホールの輪番休業、行政への業務負担に配慮した新台の一時的な入替自粛の実施等の影響が懸念されましたが、一時的に落ち込んだ遊技ホールの新台導入意欲も回復の兆しを見せるなど、その影響は限定的であったものと分析しております。また、2011年10月に起きたタイの洪水におきましても、洪水により被災した地域に遊技機器にも使用される電子部品等を製造している工場があり、遊技機器製造への短期的な影響が懸念されましたが、これまでのところ大きな影響は見られておりません。しかしながら、個人所得の低迷や雇用環境への不安による節約志向の継続などから、遊技費用をおさえようとする傾向は継続しており、遊技ホールの収益環境は引き続き厳しい状況が続いております。そのため、遊技機器の新台需要につきましても、集客力のある定番機種や大型企画などの一部機種に集中し、全体としては引き続き低調に推移しているものと分析しております。

かかる環境の中で当社グループは、主力製品である遊技機器市場向けグラフィックスLSI（注2）（サウンド、LED（注3）制御等の機能を統合した製品を含む）を中心に各種製品の販売に注力いたしました。更には、遊技機器以外の組み込み機器市場（注4）に向けたグラフィックスLSI製品の採用拡大を図るとともに、100%出資子会社である株式会社ニューゾーン（以下、「NZ社」という。）において無線分野に向けた製品開発にも注力いたしました。

主力製品である遊技機器市場向けグラフィックスLSIに関しましては、当社製品を含む遊技機器構成部品のリユース（再使用）が本格的に浸透していることなどから、前年同期の販売数量を下回る約96万個の販売にとどまりましたが、従来製品から高付加価値化を図った「AG4」への移行は着実に進展いたしました。遊技機器市場に向けたその他製品に関しましては、サウンドLSI（注5）は機能統合化製品への移行や顧客の需要動向により前年同期に比較し販売数量は減少いたしました。LEDドライバLSI（注6）は採用社数が増加したことや搭載機器の販売が好調に進展したことなどにより、前年同期を大幅に上回る販売数量となりました。また、組み込み機器市場向けグラフィックスLSIにつきましては、海外輸出向けの産業用機器の需要により、前年同期と同程度の販売数量となりました。なお、当第1四半期より連結対象となりましたNZ社につきましては、当第3四半期連結累計期間における売上高はありません。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,680百万円となりました。販売費及び一般管理費に関しましては、遊技機器市場向け顧客開発環境に関するシステム開発費や組み込み機器市場に向けた次世代製品「AG11」及びNZ社においてデジタル簡易無線向けLSIの試作開発費を計上したことなどから研究開発費で1,397百万円、販売費及び一般管理費全体で2,203百万円の計上となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における営業利益は1,237百万円、経常利益は1,268百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間におきまして、会員権評価損として特別損失10百万円を計上しており、四半期純利益は803百万円となりました。

（注1）「遊技機器市場」とは、パチンコ機及びパチスロ機等の製造に係る市場を意味しています。

（注2）「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しています。

（注3）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われています。

（注4）「組み込み機器市場」とは、組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定の用途に特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

（注5）「サウンドLSI」とは、デジタル化された音声データを再生するための当社LSI製品を意味しています。

（注6）「LEDドライバLSI」とは、遊技機器に搭載されるLEDを効率的に制御するための当社LSI製品を意味しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、12,644百万円となりました。このうち流動資産合計は12,014百万円となり、その主な内訳は現金及び預金6,075百万円、売掛金1,336百万円、有価証券3,999百万円となっております。固定資産合計は、630百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は735百万円となりました。このうち流動負債合計は721百万円となり、その主な内訳は買掛金369百万円、未払法人税等215百万円となっております。固定負債は13百万円となっております。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、11,909百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,018百万円、資本剰余金861百万円、利益剰余金10,020百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、10,074百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は943百万円となりました。これは主に、当第3四半期連結累計期間における税金等調整前四半期純利益(1,258百万円)、減価償却費の計上(159百万円)、法人税等の還付(436百万円)に対し、売上債権の増加(483百万円)、たな卸資産の増加(243百万円)、その他流動負債の減少(238百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は171百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出(108百万円)及び無形固定資産の取得による支出(63百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は1,361百万円となりました。これは主に、配当金の支払(1,360百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期(第17期)の通期業績予想につきましては、平成23年4月26日付けにて開示いたしました「平成23年3月期決算短信」及び「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりです。

なお、当第3四半期連結累計期間における業績は、通期業績予想に対する進捗として、売上高は81%となっておりますが、営業利益以下の各利益はいずれも100%を超える数値となっております。しかしながら、第17期期末前後の製品納期や試作開発費等の発生に未確定の部分があること等に鑑み、現時点において通期業績予想の修正は行っておりません。今後の業績動向及び確度の高い情報収集の結果により業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示を実施いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間より、平成23年4月26日付けにて開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり株式会社ニューゾーンの資産、損益等の状況に重要性が増したと判断したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,075
売掛金	1,336
有価証券	3,999
商品及び製品	449
原材料及び貯蔵品	0
その他	152
流動資産合計	12,014
固定資産	
有形固定資産	228
無形固定資産	134
投資その他の資産	267
固定資産合計	630
資産合計	12,644
負債の部	
流動負債	
買掛金	369
未払法人税等	215
その他	137
流動負債合計	721
固定負債	
資産除去債務	10
その他	3
固定負債合計	13
負債合計	735
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,018
資本剰余金	861
利益剰余金	10,020
株主資本合計	11,900
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	8
その他の包括利益累計額合計	8
純資産合計	11,909
負債純資産合計	12,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,680
売上原価	3,239
売上総利益	3,441
販売費及び一般管理費	2,203
営業利益	1,237
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	3
還付加算金	20
その他	3
営業外収益合計	32
営業外費用	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	0
その他	0
営業外費用合計	1
経常利益	1,268
特別損失	
会員権評価損	10
特別損失合計	10
税金等調整前四半期純利益	1,258
法人税等	454
少数株主損益調整前四半期純利益	803
四半期純利益	803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	803
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△15
その他の包括利益合計	△15
四半期包括利益	788
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	788
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,258
減価償却費	159
受取利息及び受取配当金	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△243
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△69
仕入債務の増減額 (△は減少)	△60
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△238
その他	184
小計	498
利息及び配当金の受取額	8
法人税等の還付額	436
営業活動によるキャッシュ・フロー	943
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△108
無形固定資産の取得による支出	△63
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△1
配当金の支払額	△1,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△588
現金及び現金同等物の期首残高	10,427
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	236
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,074

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,428	6,038
売掛金	853	1,336
有価証券	3,999	3,999
商品及び製品	206	449
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	910	143
流動資産合計	12,398	11,967
固定資産		
有形固定資産	217	228
無形固定資産	152	134
投資その他の資産	564	517
固定資産合計	934	880
資産合計	13,332	12,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	429	368
未払法人税等	—	214
その他	390	136
流動負債合計	819	719
固定負債		
資産除去債務	7	10
その他	4	3
固定負債合計	11	13
負債合計	831	732
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	10,596	10,225
株主資本合計	12,477	12,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24	8
評価・換算差額等合計	24	8
純資産合計	12,501	12,115
負債純資産合計	13,332	12,848

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)
(第3四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	5,963	6,680
売上原価	2,651	3,239
売上総利益	3,311	3,441
販売費及び一般管理費	2,077	2,015
営業利益	1,233	1,425
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	2	3
還付加算金	—	20
その他	4	5
営業外収益合計	13	34
営業外費用		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	1,247	1,458
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
会員権評価損	—	10
特別損失合計	1	10
税引前四半期純利益	1,246	1,447
法人税等	438	454
四半期純利益	807	993

(3) (参考) 四半期キャッシュ・フロー計算書 (個別)

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,246	1,447
減価償却費	166	159
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
受取利息及び受取配当金	△9	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△583	△483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	119	△242
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8	△69
仕入債務の増減額 (△は減少)	△322	△61
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△257	△236
その他	△193	193
小計	175	697
利息及び配当金の受取額	9	8
法人税等の還付額	—	437
法人税等の支払額	△2,290	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,105	1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21	△108
無形固定資産の取得による支出	△33	△63
関係会社株式の取得による支出	△250	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△2,103	△1,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,104	△1,361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,514	△389
現金及び現金同等物の期首残高	13,309	10,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,794	10,037

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めている株式会社ニューゾーンは、当第3四半期連結累計期間における売上高はありませんので、株式会社アクセルにおける生産、受注及び販売の状況を記載しております。

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	6,864	127.5
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	202	103.7
その他 (百万円)	103	120.2
合計 (百万円)	7,170	126.6

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品	6,840	131.3	2,515	118.4
組み込み機器市場向LSI製品	136	77.3	35	66.3
その他	118	179.5	9	343.8
合計	7,094	130.1	2,560	117.4

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	6,376	112.0
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	191	93.5
その他 (百万円)	112	172.2
合計 (百万円)	6,680	112.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 前第3四半期累計期間及び当第3四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	5,679	95.2	6,427	96.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

平成24年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	1,943	1,989	2,747	—
売上総利益	1,090	970	1,380	—
営業利益	347	261	628	—
経常利益	353	281	634	—
税金等調整前四半期純利益	353	270	634	—
四半期純利益	183	189	431	—
四半期包括利益	177	179	431	—
1株当たり四半期純利益	14.76円	15.30円	34.75円	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	12,434	13,224	12,644	—
純資産	11,670	11,850	11,909	—
1株当たり純資産	940.99円	955.48円	960.25円	—